

# ナノテクノロジー・材料科学技術に関する施策ロードマップ

資料 1-4-1  
科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
(第54回) H27.8.24

2012(H24) 2013(H25) 2014(H26) 2015(H27) 2016(H28) 2017(H29) 2018(H30) 2019(H31) 2020(H32) 2021(H33)

環境・エネルギー

**元素戦略プロジェクト<研究拠点型>(2012年度より10年間)**  
我が国の産業競争力強化に不可欠である希少元素の革新的な代替材料を開発するため、共同研究組織の密接な連携・共働の下、物質中の元素機能の理論解明・解析・特性評価を一体的に実施。  
※事前評価時は「新・元素戦略プロジェクト」

我が国の資源制約を克服し持続可能な発展を目指す

**統合型材料開発プロジェクト【新規】**  
情報科学の進展を活用し、システム工学的な手法を組み合わせながら研究手法の革新を目指すとともにIoT社会などの社会の流れに対応した技術開発を実施。

環境・エネルギー、健康・医療、IoT社会等における課題の解決

**ナノテクノロジーを活用した環境技術開発(2009年度より10年間)**  
異分野の人材が集結する研究拠点において、先端的な共用装置等を活用しつつ、太陽光発電、二次電池、燃料電池に関する基礎基盤研究の強化による技術シーズを開発。 ※前回中間評価時は「ナノ材料科学環境拠点」。

科学技術基盤

**ナノテクノロジー・プラットフォーム(2012年度より10年間)**  
ナノテクノロジーに関する最先端の研究設備とその活用のノウハウを有する機関が協力して、技術領域に応じた全国的な設備の共用体制を構築するとともに、産学官連携や異分野融合を推進。

先端研究設備の整備、共用化及びネットワーク形成の促進

震災からの復興

**東北発 素材技術先導プロジェクト**  
東北地方の大学や製造業が強みを有するナノ材料分野において産学官協働によるナノテク研究開発拠点を形成。

震災からの復興・再生を成し遂げる

▲は中間評価 ▼は事前、事後評価